

---

# コレハ記憶ヲタドル話

ヤタガラス

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

コレハ記憶ヲタドル話

### 【Nコード】

N0381R

### 【作者名】

ヤタガラス

### 【あらすじ】

主人公 慶けい

記憶を失っている。

初めて投稿しました！まだまだ未熟なのですがよろしく願っています???

アドバイスや愚痴でもなんでもいいのでコメントお願いします!!

俺には記憶がない。  
なんだろう。

今、病室にいる。カーテンが揺れ、春の匂いがする風が吹き込んでくる。

『…………た…………たす…………けて』

頭にさつきから思い浮かぶ。これは何だろう。

外に散歩にでも行こう。

『慶ちゃん！』  
とっさに病室の扉を見た、背は160前後、髪は短い、どうやら自分の事を知ってるらしい。

『大丈夫だった!?!』  
『ああ。ってなんかあったのか俺?』

そう言つと頬を膨らませこう言った。  
『慶ちゃん、昨日火事があった家に「あの子助けてくる!」って言うっていきなり行っちゃったじゃん!すっごく心配したんだよ!』

火事？あの子？  
俺が？

『んで、その子はどうなったの？』

『無事だったみたい、どこもケガしてないみたいだし！でもね……  
……』

『！……』

『でも順調に回復してるそうよ！』  
俺にはわかった。無理して微笑みを作ってることが……

『俺の記憶……一緒にたどってくれないか？』

『いいよ！ちなみに私の名前は美幸！よろしくね！』

満面の笑みだった。なんだろう。確か……いや……違うな……

『よろしく。俺は……』

『慶でしょ！』

『あっ！俺は慶！よろしくな。』

続  
く

page 1 (後書き)

とても緊張しました???

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0381r/>

---

コレ八記憶ヲタドル話

2011年2月21日15時28分発行